



発行・編集：一般社団法人熊本市保育園連盟 立田山野外保育センター(雑草の森)

〒861-8005 熊本市北区龍田陳内1丁目5番66号

TEL 096-348-7300 / FAX 096-339-7123

URL <http://www.kumashiho.jp/zassounomori/> E-Mail zassounomori@kuma-shiho.jp

明けましておめでとうございます

立田山野外保育センター運営委員会

業務執行理事 三浦弘文



昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの日常は一変しました。4月に発令された緊急事態宣言により、学校の休校、保育所、認定こども園利用者に対する登園自粛要請等、今までに経験したことのない混沌とした状態の中、新年度がスタートしました。各園においては日々の保育、年間行事の見直し等、調整は大変だったのではないのでしょうか？

経済活動を活性化すべく導入された GoTo キャンペーンですが、現在、全国的に第三波と呼ばれる感染拡大の波が押し寄せており、コロナ対策は新たな局面を迎えようとしています。

立田山野外保育センター(雑草の森)でもコロナによる影響は顕著で、令和2年度上半期でみると、利用者は前年度同時期と比べ、4000人以上減少しており、年間1万人以上で推移していた利用者も今年度は大きく割り込むことが予想されます。

さて、コロナの感染防止には三密が必要とされていますが、雑草の森では野外活動により密が避けられること、利用日は「貸し切り」で、他の団体との接触が避けられること、さらに、雑草の森の自然は人の手により管理され、安心・安全な環境の中で活動できること、以上を考慮すれば、感染症に関して特に憂慮する必要はないと考えます。

雑草の森は子どもたちの健全育成を運営の大きな目的としており、公共性の極めて高い空間です。皆様、是非有効に活用いたしましょう。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

立田山のお友だち③

冬を彩る木の実いろいろ

紅葉が終わり落葉した樹木はいかにも寒々としています。でも雑草の森の木々をよく見ると、いろいろな色と形の「木の实」が枝先に残っています。

この「木の实」が厳しい冬の間の野鳥たちの貴重な餌となります。野鳥に食べられることで、離れた場所で糞と一緒に「種子」が地面に落ちて仲間を増やしていくのです。

冬の雑草の森には生き物たちの知恵やドラマがいっぱい。ちょっと覗いてみませんか！？



▲サネカズラ



▲ナナミノキ



▲ゴンズイ



▲ハゼノキ



▲センダン

雑草の森で「アサギマダラに会うプロジェクト」を実施しました

立田山自然探検隊とのコラボ企画で始まったこのプロジェクトは、自宅で育てたフジバカマを、秋に雑草の森へ持ち寄り、即席のお花畑をつくり飛来するアサギマダラと出会うという企画です。

立田山は、毎年アサギマダラが旅の途中に休息する場所です、センターのお花畑をアサギマダラがフワリフワリと優雅に飛び回るのを期待し日々観察していました。

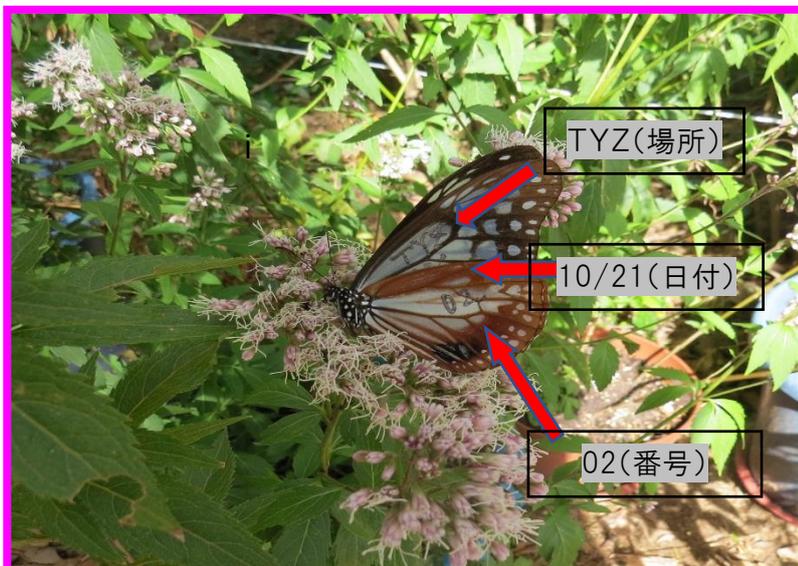
すると、10月14日頃からフワフワと飛び回るアサギマダラを目撃するようになりました。

そんななか、雑草の森へ遊びにきてくれた「まんごく保育園のおともだち」と一緒にアサギマダラにマーキングをしました。

子どもたちからは「元気でね〜」「またきてね〜」と明るい声がひびきました。

来年秋にも雑草の森へフワリフワリと遊びにきてくれる事を願っています★

【マーキングの書き方】



【マーキングの書き方】

- ①「TYZ」場所（雑草の森）
- ②「10/21」月/日
- ③「02」番号



▲立田山自然探検隊の益田さんとまんごく保育園のおともだちと一緒にアサギマダラに「マーキング」をしました。

第7回かぼちゃづくりコンテスト受賞園の発表

お忙しい日々の保育の中、第7回かぼちゃづくりコンテストへご応募いただき、誠にありがとうございました。

12月9日開催しました「第7回運営委員会」におきまして、厳正なる審査を行い、下記の通り受賞園が決定致しました。審査員（運営委員）の感想もご一読ください。

応募総数

えびすかぼちゃ露地栽培部門	4か園
えびすかぼちゃプランター部門	応募なし
春日ぼうぶら露地栽培部門	8か園
春日ぼうぶらプランター部門	2か園

えびすかぼちゃ露地栽培部門（優秀賞）

つばめこども園

（感想）種まきをし、芽が出て、きれいな黄色に花が咲き、葉っぱにバッタがとまったり、子供達がかぼちゃに触ったりして、楽しそうにしている様子がうかがえました。最後にはクッキングして食べる所まで、かぼちゃが出来ていく様子が表現できて大変良かったです。

えびすかぼちゃプランター部門（優秀賞）

なし



春日ぼうぶら露地栽培部門（優秀賞）

大光保育園

（感想）今回、大光保育園さんが優秀賞に選ばれた最大の要因は「喜び」があふれている所だと思います。種を植えたら苗が出て、お花が咲き、かぼちゃが実って、収穫をする。また、それを調理して食べる喜び。かぼちゃの成長が子どもの成長の1部になっていく喜びが、応募された誌面から十分に伝わってきました。

春日ぼうぶらプランター部門（優秀賞）

かっぱこどもえん

（感想）活動が分かりやすく整理されていました。更に子どもの表現活動にまでつながっていて良かったと思います。

特別賞

こずえ保育園

（感想）「おおきくなりますように」と種をまき、その育ちをみて本来なら出来たかぼちゃを喜んだりして、その実りを感じるころですが、今回取り組んでいくその経過の中で、残念ながら芽が枯れてしまいました。その場合、つついそこで諦めがちですが、「どうして枯れてしまったのか？」というところに着目し、枯れたから終わりではなく、その視点に目を向け、原因となるものを探り、次に活かそうとするところが良かったと思います。失敗で終わるのではなく、そのことについて学ぶことも、このかぼちゃ大会の大きな意味があるのではないのでしょうか。来年こそは大きな実がなることを願っています！

立田山野外保育センター「イベント中止のお知らせ」

新型コロナウイルス感染症は一時収束の兆しを見せましたが、11月以降、再度全国的に感染が拡大し、熊本県リスクレベルも最高レベル5となりました。1月、2月に開催を予定していました「冬の自然楽校」「第7回雑草の森まつり」「親子キャンプ」は残念ですが「中止」することといたしました。

1日も早くコロナが収束し、皆様と笑顔で会える日を楽しみにしています。

雑草の森（センター事務局）からのお知らせとお願い

●令和3年度の利用予約申込を2月2日から受け付けます。

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）の宿泊利用・日帰り利用の先行予約抽選会を、2月2日（火）午前10時30分から雑草の森で行います。

予約申込を希望される方は、当日午前10時30分までに雑草の森へお越しください。詳しいご案内文書は12月に配布しておりますのでご確認ください。

なお、当日ご出席される先生方はマスク着用など感染予防へのご協力をお願い致します。

●雑草の森の「空き状況」はHPで確認できます。

雑草の森の宿泊や日帰り利用の予約状況（空き日の情報）は雑草の森HPにてご覧いただけます。

●令和2年度「もりの協力隊員」一覧（ご加入ありがとうございます。）

【法人隊員】

（株）富坂建設様、（有）矢野畜産様、（株）チャイルド社熊本営業所様、（有）一幸プランニング様、大井商店様、（福）靖共会様、（福）有明会様、（福）仁愛園様、（福）金峰会様、（福）河童福祉会様、（福）モロナイ会様、明星保育園様、（福）飽田東保育園様、NPO法人サンシャインフォーラム熊本様、（順不同・14団体）

【個人隊員】

江藤美信様、平川裕季子様、福田勇一郎様、三浦弘文様、山下由美子様、鬼塚和典様、西原勝子様、西原明優様、木村朝男様、坂本直美様、浦田富士也様（順不同・11名様）

※「もりの協力隊員」加入申込みは随時受付しております。

編集後記

かぼちゃづくりコンテスト受賞園さん、おめでとうございます。今回惜しくも受賞されなかった園さんも、審査員の先生方は甲乙つけがたい作品ばかりだと頭をいためておられました。

冬の雑草の森は、ピザ釜やキャンプファイヤーで火付けに挑戦してみたり、花びらを浮かせた洗面器でキレイな氷を楽しんだりできます。

貸切施設ですので是非、冬の雑草の森へお越しください。



Yamato